

ひかりの家

設計者／株式会社米田設計
施工者／佐藤産業株式会社



設計趣旨 CONCEPT

ひかりの家は地方都市の住宅街に建つ小さな家です。

敷地は東西南の3方を建物に囲まれ、北側は国道に接しており、普通に家を建てたのでは光や風に恵まれないような狭小敷地です。

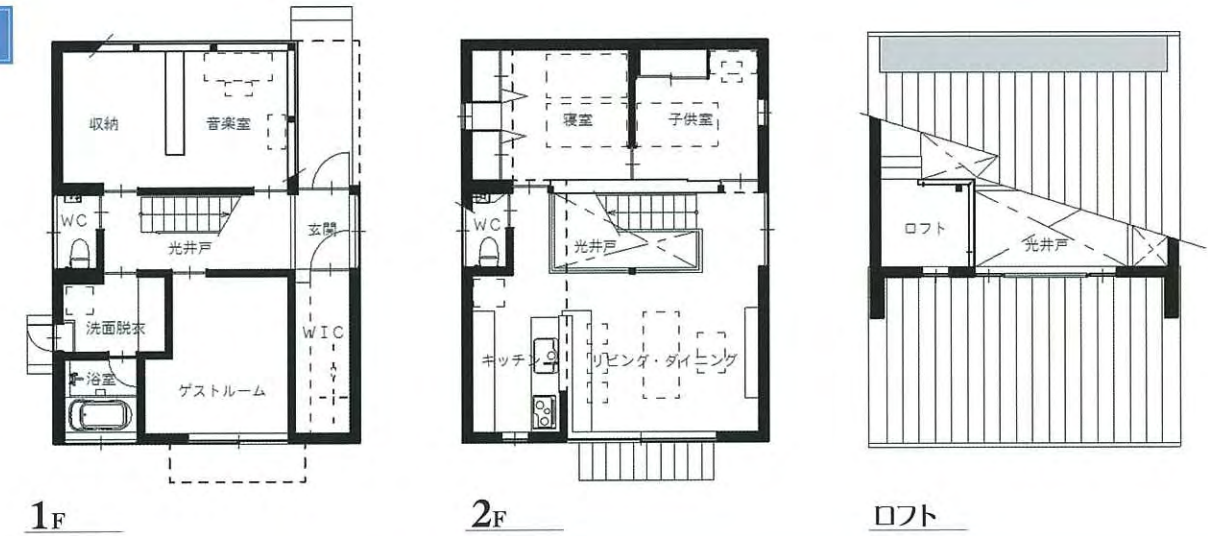
プライバシーを守りつつも、光や風を積極的に取り込むにはどうすれば良いか、また狭小敷地を感じないで家族で暮らすにはどうすれば良いか、そしてそれらを建物内外においてどのように表現するか。これらの課題の解決が設計主旨となりました。

白を基調とした空間がスリットや家具、距離といったレイヤーを通して繋がります。また、それはそこに家族の存在を時に際立たし、時にカムフラージュします。同時にそれらの仕掛けは光や風を建物全体に循環させ、街中にいながら自然の移ろいを感じられる空間となります。

空間の対角の距離、目の距離、様々な距離をつくることでメリハリのある空間を試みています。



平面図



講評 REVIEW

中心市街地における狭い敷地で、いかにプライバシーを保ち光や風を取り込むか、随所に工夫が施された「ひかりの家」。

一步玄関に入ると、そこは敷地の狭さを感じさせない、広々とした空間が演出されています。

建物中央に階段室を兼ねた光井戸が設けられています。建物上部の採光窓からの光が光井戸に満ち、室内全体を明るくしています。また、建物下部にスリット窓を設けることで、建物上部の採光窓との通風を確保し、心地よい風が室内を流れます。長くこの家に住み続けたいというご夫婦のご要望をかなえるため、将来の改築も想定した間取りとなっており、安心感があります。

ふと気がつくと、「ひかり」だけではなく、ご家族の幸せそうな「笑顔」が「ひかりの家」にあふれていました。ベッドに横になって星空が見えるなんて素敵ですね。

